

第2章 典礼の色と祭服の色

聖イグナチオは「子供たちが教会の備品、道具、その他典礼の色を認識しはじめると、教会で違った態度をもつようになる」と述べています。感覚的な物を通して祈り、神への畏敬へと導く助けとなることを示した言葉と思います。

教会への往復の道すがら交通信号機、消防自動車、またある季節、母の日、父の日のお花の色、助け合い運動の緑の羽根、赤い羽根等々、周辺には色が密接にかかわっていることがわかります。

日曜日に教会へ出かけますが、まだはっきり意識して司祭の祭服の色を見ていなかった子どもたちへ、意識をもって観察させるようにしてみましょう。きっと新しい発見があるでしょう。

この章は二つの部分に分けて展開されます。

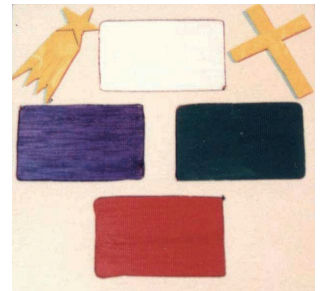
第1部は典礼の色

第2部は祭服の色

第1部 典礼の色

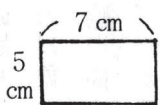
教会に行きミサが始る前に、今日司祭はどのような色の祭服を着て入堂するか、ミサが始ると、侍者と一緒に入堂する司祭の祭服の色に充分注意を向けさせ、色を強く印象づけるように導きます。

年間を通して違った色の祭服を着ることによって、違った感情、願いを表現しているそれぞれの色を観察させます。



○教材

4枚の板、またはボール紙
(白色、紫色、緑色、赤色に幼児が塗る)



キリストのご降誕
(黄色に塗る)



キリストの死と復活
(黄色に塗る)



《説明》

- ・ 白色、
お祝いが続く色
- ・ 紫色、
お祝いを待つ色
- ・ 緑色、
お祝いの後に続く色
- ・ 赤色、
とくべつな色
- ・ 星、
キリストのご降誕を示す
- ・ 十字架、
キリストのご復活を示す

○作業

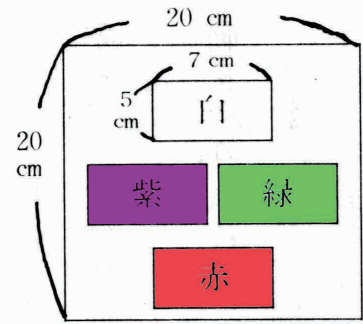
4枚のカード、赤、白、紫、緑色の色を塗る。

星と十字架に黄色を塗る。

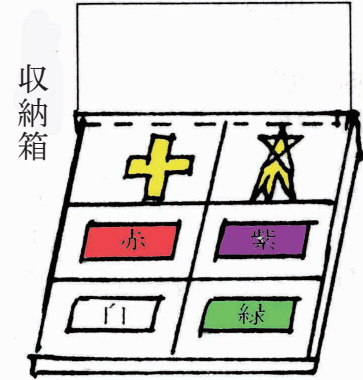
はめこみ教材で何回も繰返して先生と同じようにしてみる。

○教材の使用

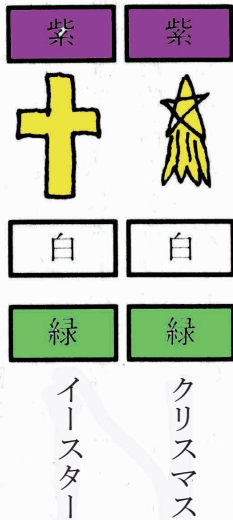
先生は収納箱から教材を出し、混ぜる。そして、星を置いてからクリスマスがくるのを待っている時、紫色の板を置きます。



練習用はめこみ板



収納箱



白色の板を星の下に置きながら、キリストのお祝いが続きます。それから緑色の板を置いてお祝いの後続くことを教えます。

十字架（復活のしるし）を置き、キリストの復活を待っている紫を置き、お祝いの続く白色、それに続く緑色。赤色はとくべつな色で、鳩、聖霊降臨と第2部で扱います。

何回も繰返して星、十字架をとりかえながら練習させます。

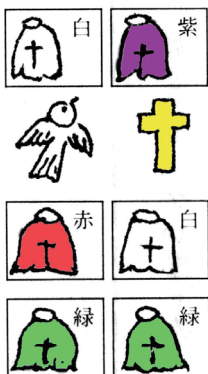
第2部 祭服の色

○教材

祭服カード4枚

ストラのカード4枚

- 作業 祭服のカード4枚の絵
- ストラのカード4枚の絵
- 十字架、星、鳩のカードをつくる



ペンテコステ
イースター



祭服カード4枚

○直接のねらい

一年の典礼の色を知ること

祭服の色から喜び、悲しみ、痛み、気、希望、平和の象徴を知る

○間接のねらい

教会の典礼暦へ準備する

○応用 ぬり絵、張り絵、切り絵等



補足写真②-1